

Rotary International District2780

GOVERNOR'S

Monthly Letter

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

2022
1月号
Vol.7

2021-2022
ガバナー月信



ROTARY DAY OF SERVICE

ロータリー奉仕デー



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透
Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2021～22年度ガバナー

田島 透

ロータリアンの皆さま、新年あけましておめでとうございます。

2年越しのコロナ禍の中、緊急事態宣言が10月に解除され感染者が著しく減少しています。世界で急拡散しているオミクロン株の感染を注視しながら、これまでとは異なる警戒感を抱き新しい年を迎えられたことと思います。

7月のガバナー就任以来、新型コロナウイルス感染症拡大防止に心を配りながら、地区内65クラブを公式訪問させていただくことができました。大変な時期ではありましたが各クラブの皆さまから、クラブの状況や今後の展望そしてロータリーの活動に対する情熱をお伺いでき、第2780地区の絆を再認識することができました。本当に貴重な時間となりました。ありがとうございました。

1月は下半期の始まりの月です

1月からの下半期のために再度RI会長の方針と地区方針を確認してみましょう。

地区方針は「地区ビジョンの実現を目指して」そして「DO MORE ENDPOLIO GROW MORE MEMBERSHIP」です。

奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために

10月24日「世界ポリオデー」の一連の活動はガバナー補佐中心に各グループで開催されました。「ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭」・「バスのラッピングと中塗りポスター掲載」・「ポリオ根絶キャンペーン」そして最後に「世界ポリオ根絶サミット開催」という大きな企画を成功裏に終わらせることができました。これも偏にクラブ会員の皆様のポリオ根絶へのご理解の賜物と思っています。ポリオ常在国は11月現在パキスタン・アフガニスタンの2か国で合計4名の感染者となっています。まさに「もう少し」「カウントダウン中」です。

12月に東京でロータリー研究会が600名余りの参加者で対面開催されました。「COVID19・未来・環境・DEI・SRF」などがメインテーマでした。その内容から特に気象環境・未来形成(SRF)等2030年はロータリーのターニングポイントになると感じました。

国際ロータリー“未来形成”(SRF)について

国際ロータリーは100年以上続いた地区制度の見直しを発表しています。このSRF未来形成が具体的にどのように進むのか詳細は不明な部分も多いです。ロータリー研究会で発表されたことは2030年を実施年度とし組織の運営方法が大きく変わるという事です。

2024年から6年間世界でパイロット地区を設定し実施に向けて進んでいきます。

この変化に対応すべく、今は地区組織を盤石なものとし、どの様な体制にも対応できるクラブづくりが必須で各クラブの強化を最重点項目として取り組むことは緊急の課題です。

今後、新しい情報が入れば皆さんと共有し議論を重ねて参りたいと思います。

ロータリーの取り組む最重点項目として追加された環境への取組

MyRotaryには環境保全に関して多くの取組が掲載されています。その中で気候変動への対応として「温室効果ガスの排出削減による気候変動の原因への取り組み」、「気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化」が挙げられています。11月に開催された『COP26』では2030年までに2015年のパリ協定で掲げられた気温上昇を産業革命以前と比べて1.5度に抑制するとの目標が掲げられました。私たちはこのことを他人事と考えず、自分のこととして子供たちの将来を守る努力をしなければなら

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	4
平和フェロー・奨学金委員会より	5
地区大会実行委員会より	6
地区ホームページ委員会より	7

伊勢原平成RC戦略計画について	8
地区米山委員会、地区会員増強維持拡大委員会より	10
コーディネーターニュース	12
ロータリーの創生	14
GROW MORE MEMBERSHIP、新会員紹介 他	15

ガバナーメッセージ

ないと考えます。

地区組織「従来の委員会構成にとられない活動内容中心による委員会連携」

従来の地区委員会は、その役割・性格上縦割りのようになっていました。今年は委員会の活動をクラブ管理運営委員会が中心となり相互に情報交換し、複数の委員会が協力して行動しています。

委員会活動が委員会の横断的連携を行うことで従来にない効果をあげています。

クラブ活性化ワークショップ・世界ポリオデー・クラブフューチャービジョンセミナーなどは、ガバナー補佐・クラブ管理運営委員会・公共イメージ委員会・会員増強維持拡大委員会・研修委員会・米山委員会・青少年などが中心となって実施しました。会員増強維持拡大委員会の「新会員の集い」では米山3委員会と連携し、「米山記念館日帰り研修」を合同開催しました。新会員の皆さんと米山奨学生・学友はお互いにリアルで会話することでお互いの理解が進み親睦することができました。そして米山奨学会への理解も進みました。

地区ビジョンと優先事項

地区は地区ビジョンと行動計画を策定しています。ロータリーの中核的価値観を根底に地域社会の変化とニーズを捉え、地域社会の多くの人々との出会いと繋がりをいかして、多くの参加者を求める行動をすることで大きなインパクトをもたらすということです。各クラブでもクラブの活性化のため、5年～10年先を目指しビジョンを策定しましょう。

ガバナー補佐

ガバナー補佐の責務と立場を位置づけました。ガバナー補佐は各グループ・クラブおよび地区にとって重要な役職です。クラブの活力ある運営と必要な支援や助言を担い、クラブ側から地区やRIに向けての質問や要望、逆にRIや地区からの依頼事項などを敏速に且つ効果的な橋渡し役を果たしていただいています。

又、最近ではオンラインツールも積極的に活用し、地区委員会や各クラブとの連携も率先してガバナー補佐がそのリーダーシップを発揮し、クラブにとって頼りがいのある存在になっています。

ロータリー奉仕デーの実施

ロータリー奉仕デーはシェカール・メータRI会長の目標項目です。当地区では従来のIMのフォーラムに替えてグループごとにロータリー奉仕デーの開催を推奨しています。

各グループでRAC、IACも巻き込み、更にはロータリアン以外の参加者、他の市民団体と協力し、その参加者構成が25%以上になるようにします。またロータリーの7つの重点分野に沿った奉仕活動を展開してください。地域

社会・世界中の人々にロータリー活動を広く知って頂ける様に広報活動を展開しながら奉仕事業を開催することになっていきます。

会員増強に取り組みましょう

会員増強状況は大変厳しい状態です。11月末会員数は2276名(入会者数67名、退会者数35名で純増32名)となっています。

シェカール・メータ会長は国際ロータリーの会員を120万人から130万人に増やそうと目標を掲げました。そのための方策は「Each One Bring One」です。一人が一人を会員に迎え入れるという事です。

各クラブの現状を確認し5年後、10年後を見越し会員基盤の向上、そして衛星クラブ等も視野にいれた会員基盤向上・拡大を実施しましょう。

最後に

皆さん、クラブの現状でうまくいっていることは何でしょうか?うまくいっていないことは何でしょうか?やってみたいことは何でしょうか?その障壁となっていることは何でしょうか?それらをSDGsの17のゴールに結びつけて考えたいかがでしょうか。

昔は10年ひと昔と言いました。今日の情報化時代の凄まじい時の流れのスピードでは、多分ひと昔の単位は5年ぐらいでしょう。すると5年先は想像もつかない近い未来です。

世の中の変化に対応することが出来る組織は社会に必要とされていきます。逆に変化する事に躊躇していると社会から取り残されることとなります。

皆さんのクラブは地域社会にとってかけがえのない大切な存在です。

どのクラブも時代の先取りをしながら後進に明るい未来を導き出しましょう。

それは私たち自身が輝く事でもあり、クラブが未来に向けてより前進していくことです。

今年度はまだ半分(6ヶ月)残っています。楽しく充実した半年にしましょう。

シェカール・メータRI会長は私たちに次のようにエールを送られました。

「船は港に居れば安全です。船の目的は港に居る事ではありません。

航海してこそ船の目的が成就されるのです。

変革者である我々は冒険でありメンテナンスではありません。

私達は奉仕し、みんなの人生を豊かにするためのパワーと魔法を持っています」

いっしょに歩みましょう。みんなの人生を豊かにするために。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

職業奉仕月間に因んで



2021~22年度
職業奉仕委員会

委員長 **前沢 弘之**
(津久井中央RC)

先日、ある席で、あるベテランロータリアンが、こうつぶやきました。「職業奉仕ってのは、結局『倫理』だと思おう。」

このたった一言の向こうに、そのロータリアンが辿って来られた長い道のりと、奥深い人格、そして絶やさず灯し続けた「心の炎」を、想わずにはられませんでした。

大抵の人が、なんだかよく分からないままにロータリークラブに入って、「ありゃ、歌を歌うのか」「何だか妙な用語を使う人たちだ」と目を白黒させ、そのうち委員会の委員やら何やら、やがて、委員長だ、SAAだ、とうとう幹事だ!…。そうこうするうちに、心のどこかに火が点いた気がして、「職業奉仕って、要するに四つのテストですよ。」なんて言葉が口をついて出てきたり、「近江商人の三方よし」がストンと腑に落ちたりする。ロータリアンと呼ばれることに違和感がなくなり、クラブの在り方や、会員増強に自ら頭を悩ませたりするようになる。そうして、やがてまたよく分からなくなって、奉仕とは何だろう、商売とは何だろうかと思ひ悩み、ようやく「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉に辿り着いて…。

ロータリーの魂は、言うまでもなく「奉仕の理念」です。奉仕は、これも言うまでもなく実践してなんぼの世界。そして、職業奉仕は(クラブ奉仕も社会奉仕も国際奉仕も青少年奉仕も)、奉仕を実践するためのツールの一つであり、やはり、例えば、自分の仕事の場面で「四つのテスト」に照らして行動を選択したり、あるいは選択した行動を反省したり、クラブのプロジェクトに自分のスキルを差し出したり…といった実践をしてなんぼの世界です。それはそうなのですが、職業奉仕といえば必ず触れられる「高い倫理基準」や「高潔性」といったキーワードに代表されるように、非常に観念的な(要するに分かりにくい)世界でもあり、多くの先人による検討、研究が積み

重ねられています。ですから、地区職業奉仕委員会では、議論、時にかなり白熱した議論を重ねることが毎年恒例になっています。

それにしても、職業奉仕は象の体のようなもので、その全体を短期間でいっぺんに掴むことは困難です。私には、まだ「長いところがある」「ザラザラしている感じ」「牙が生えているな」という程度しか判っておりません。ただ、例えば、「人づくりだ」という言葉や、「受け手にとって社会にとって、良い仕事をするということ」、冒頭の「倫理だ」という言葉も、苦労の末にその全体が見えて、初めて言える言葉のように思います。しかも、先輩会員やグループや地区の役員・委員の人格に直接触れて、時に膝詰めで熱く語り合っ、心に点いた火を絶やさず灯し続けた人だけが。(ですから、コロナ禍の長期化という事態が、私たちから奪ったものの大きさを想わずにはられません。)

さて、今年度も職業奉仕月間を迎えます。地区職業奉仕委員会は、月間に因み、私たちの議論の成果を携えて、皆さんのクラブへ卓話にお邪魔します。若い会員の心に火を点けて、「職業奉仕って、要するに…」と語り出してもらえような、皆さんの心の炎に少し勢いを与えられるような、そんな卓話を目指しています。

どうぞ、お楽しみに。

※卓話者派遣への御応募は、2021年12月10日で締め切っていますが、その後でもご依頼があれば派遣を検討します。また、今年度の卓話も、地区ホームページにアップする予定ですので、そちらもぜひご活用ください。

財団奨学生合格者決定・合格 おめでとうございます

2021~22年度
平和フェロー・奨学金委員会
委員長 中山 富貴子
(茅ヶ崎RC)



ロータリー財団とクラブは大学・大学院レベルの奨学金を通じて地域や世界で活躍出来る未来のリーダーを育成しています。ロータリアン皆様のご寄付が「人を育てるロータリー財団」の活動として、平和フェロー・ロータリー奨学生の奨学金に活用されております。第2780地区ロータリークラブ会員の皆様には日頃よりご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2022-23年度ロータリー財団奨学生選考試験が11月6日に行われました。

難解な試験、厳正なる選考を乗り越えた優秀な10名の応募者からグローバル補助金3名(補欠1名)、地区補助金1名(補欠1名)が選出されました。

『グローバル補助金奨学生』

1. 瀧波栄一郎(鎌倉RC推薦 向井稔カウンセラー)
2. 石塚 彩世(相模原RC推薦 齊藤啓夫カウンセラー)
3. 鈴木 楓子(足柄RC推薦 遠藤秀樹カウンセラー)

『地区補助金奨学生』

1. 菊地 更紗(鎌倉中央RC推薦 小島政行カウンセラー)



ロータリー奨学生は「世界理解・親善・平和推進」を掲げるロータリー財団の教育プログラムです。

前年度奨学生の山下エレナさんはフランス・パリ、小林拓海さんはイギリス、喬博軒さんはアメリカ、前々年度奨学生の笠井麗子さん・岡山夏生さんのお二人はフランス・パリへ、鎌田舞子さんはイギリス、藤原和奏さんはロシア

へ、まだ取まらないコロナ禍中ですがそれぞれの目標に向かい頑張って留学中です。

今年度第1回オリエンテーションは、11月13日(土)に奨学生合格候補者とカウンセラーに向けて行いました。目標にしている留学希望大学・大学院の合格許可を受けた後、留学国のホストクラブとカウンセラーを決定し奨学金申請の手続きに入ります。日本の推薦クラブと留学国ホストクラブで留学中を見守ります。奨学生は真剣に申請方法などオリエンテーションの説明内容を確認していました。第2回オリエンテーションは4月9日、第3回の最終オリエンテーションと壮行会は6月25日を予定しております。

『ロータリー平和フェローシップ』はロータリー財団プログラムで、2002年ポールハリス没後50周年を記念し創設されました。世界8つの大学にある7つのロータリー平和センターで平和や紛争予防・紛争解決の担い手となる人材を育てます。日本では国際基督教大学(ICU)に平和センターがあり、第2750地区を中心に近隣6地区が「ホストエリア連絡協議会」を形成、フェローを支援しています。今年度は新型コロナの状況を受け、国際ロータリー(RI)とICU平和センターと協議しフェローの意向を確認の上、第2780地区では19期生サビナ・カキナリさん(相模原RC)1年休学、20期生ルシア・プリードさん(茅ヶ崎RC)1年延期となりました。

現在の国際情勢を鑑みて、平和フェロー、ピースビルダーの育成・強化が必要と思われれます。引き続きクラブロータリアン皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。



2022年3月20日、21日に開催！ 地区大会でお会いしましょう

2021～22年度
地区大会実行委員会
委員長 **市川 洋**
(ふじさわ湘南RC)



新春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、国際ロータリー第2780地区の運営に多大なるご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

さて、本年度地区大会は3月20日(日)・21日(月・祝)の2日間、ふじさわ湘南ロータリークラブをホスト、第3グループ8クラブをコホストとして、鎌倉パークホテル及び藤沢市民会館にて開催する運びとなりました。

シェカール・メータRI会長の今年度のテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」、そして、地区ビジョン「私たちは地域社会のニーズをとらえ、地域社会にインパクトをもたらし、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために積極的に行動します」と掲げる中、皆様方の健康と安全の確保を最優先し、プログラムを簡略化しつつも、内容が凝縮された地区大会となるべく準備を進めております。

本大会開催日は春分の日。春の訪れとロータリーを多くの仲間と共に祝福できますよう、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

地区大会第1日目

3月20日(日)・鎌倉パークホテル

- ・4種委員会 10:30～11:30
- ・顕彰午餐会 10:30～11:30
- ・会長・幹事会 13:00～15:00
- ・クラブリーダーセミナー 15:00～16:45
- ・RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会(会長・幹事)
17:30～19:40

地区大会第2日目

3月21日(月・祝)・藤沢市民会館

- ・新世代交流会 9:30～11:30
- ・本会議 13:30～17:30
- ・友愛コーナー
- ・ショッピングコーナー } 12:30
~17:30
- ・米山学友茶菓サービス }
- ・懇親会 18:00～19:30

地区大会親睦ゴルフ大会

2月28日(月)・レイクウッドゴルフクラブ

大会に先立ち親睦ゴルフコンペを開催いたします。皆様ふるってご参加ください！

※日本では、現在(12月10日)新型コロナウイルス感染状況が落ち着いている状態ではありますが、今後の感染症の拡大状況によっては、開催方法が変更になる可能性も懸念されます。その際は、ガイドラインに則って判断をさせていただきます、改めてご周知申し上げますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2月末ホームページリニューアル に向けて

2021～22年度
地区ホームページ委員会

委員長 **小野 良太郎**
(秦野中RC)



本年度地区ホームページ委員会では、新しいHPの2月末公開に向けて、今年10月より担当業者となつていただくアシスト・ワンの小林様と共に議論しながら、委員会活動をしております。RI会長のシェカール・メータ会長は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」と掲げられておりますが、その奉仕活動等、地区事業や各クラブの奉仕活動を随時Facebookのように投稿できるようにし、動きのあるHPにしたいと思っております。2月末の公開後も会員の皆様のお役に立てるように柔軟に改善し、アップデートしてまいりたいと思っております。

今回のHP担当業者の変更は、当地区では2016年のHPリニューアル時に、今後の公平円滑な運営のため地区HPを5年に一度公募案内することと定め、昨年度が5年目ということで実施されました。本来であれば1月より公募し、3月中に入札・契約を予定しておりましたが、リニューアルする以上、地区内会員のためになるにはどのようなHPが理想なのか等、もっと深く議論し、審議を重ねることが必要と判断し、契約時期を変更しました。委員会で慎重な審議を重ね、予定より3か月遅れて6月末にアシスト・ワン様に決定いたしました。当地区のHPはネット上で見えるHPと、内部では会員管理のシステムが稼働しております。3か月の業者変更に伴う作業期間を設け、10月よりアシスト・ワン様と保守契約を結びました。現在も会員管理システムの移行作業をしていただいております。と同時に、2月末公開予定の新しいHP作成にも取り掛かっていただいております。

11月までの委員会活動で、各委員から積極的に意見をいただき、大まかなデザインが決まってまいりました。当委員会は入会1～3年未満の会員やベテランの会員が在籍しており、様々な角度から意見が出されております。第一の変更点は、現在全ての情報を誰でも見られる状態となっておりますが、コンテンツ数が多くなってしまい目的の情報にたどり着くのが困難ではとの意見から、一般向けと会員向けのHPとなることが決まっております。これにより

一般の方は見る必要のない情報がなくなり、すっきりとしたデザインとなると同時に、会員向けも必要な情報にアクセスしやすくなり、利便性が増すものと思っております。またカレンダーもgoogleカレンダーを埋め込み、リストではなく一目で予定がわかりやすいように変更いたします。コンテンツもロータリー用語辞典等ロータリー関連の情報を追加、また将来的には卓話者リストなども予定しております。もう一つの大きな変更点は上でも述べたように、動的なHPにするために各種セミナーやIM等の地区事業や、各クラブが行う奉仕活動を随時投稿して公開できるようにすることです。その他についても会員の皆様のお役に立てるHPになるよう委員会で議論してまいります。是非新しいHPをご活用いただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



伊勢原平成RC戦略計画について
**クラブ戦略計画事例紹介インタビュー
「伊勢原平成ロータリークラブ」**
伊勢原平成ロータリークラブ テーマ
主体はロータリー会員


左から、大河原幸夫委員 蜘蛛匠バスト会長 阿部副委員長

インタビュー実施日 2021年12月4日(土) 11:00~@相模原産業会館(フューチャービジョンセミナー実施日)

インタビュー 伊勢原平成ロータリークラブ 19-20年度 会長 蜘蛛 匠 様

インタビューア 地区戦略計画委員会 副委員長 阿部 剣朗

阿部副委員長 本日はお忙しい中、有難うございます。今年度、地区戦略計画委員会では昨年までに策定された地区のビジョンや行動計画をより浸透させるのはもちろんの事、各クラブが中長期の計画を独自に作り、クラブ活性化に努めて頂けるよう、実際に具体的な取り組みをされているクラブを事例紹介としてご紹介したいと考えています。本日は、過去3回にわたり長期計画・戦略計画を作って来られた、伊勢原平成ロータリークラブで中心的な役割を担われたバスト会長の蜘蛛匠様にインタビューさせていただきます。

阿部副委員長 伊勢原平成ロータリークラブさんは、クラブ戦略計画をお持ちですが、まずはこの戦略計画をクラブとして作ると思われたきっかけなどはありましたか？

蜘蛛PP 最初の計画は「長期計画」という形で策定しましたが、きっかけは10年以上前に地区で推奨しているというので、「では、やってみよう!」という感じでスタートしました。以前、CLPについてもすぐに行動しましたが、そういった事に前向きなクラブだと思います。

阿部副委員長 伊勢原平成ロータリークラブさんは、現在3期目のクラブ戦略計画に基づいてクラブ運営をされているということですが、そのような中で新型コロナウイルスの影響もありますが、現在のクラブ戦略計画の中で、特に重点を置いている内容はどのような点ですか？

蜘蛛PP 3期目の戦略計画書には2022-23年度に奉仕事業として「環境問題」を計画、その次年度にプロジェクト実施を策定しました。コロナ禍で具体的な動きは鈍化しているものの、「環境問題」は知識と準備期間が必要だと思うので、勉強会を実施してスキルアップに励んでいます。

阿部副委員長 これまでもクラブ戦略計画を作り、それをきちんと検証報告し、また次の戦略計画を作るということをされていらっしゃるようですが、そのように長期間にわたり検証もしながらクラブ運営をされているところはなかなかありません。担当する委員会や、そのメンバー構成など、どのようにされていますか？

蜘蛛PP 1回目:2010-11年度に設立25周年に向け策定

2回目:2014-15年度に30周年までの計画

3回目:2020-25年度の戦略計画

を策定しましたが、1回目の長期計画委員会のメンバー構成はバスト会長を中心に5名程度でした。ただし現在はクラブ研修委員会で戦略計画を検討していて、そのメンバーは変化し委員長はバスト会長ですが、委員は会長エレクトや将来会長になる予定の若い会員が中心となり構成されています。また、委員会で計画の未達などについて検証。報告後、複数の炉辺会合で「クラブの良いところ・改善したいところ」「将来、どんなクラブにしたいか」など、クラブの展望や夢を語り合いながら、計画に取り入れていくようにしています。

また逆に、達成出来そうにない(目標の大き過ぎる)計画は早期に諦めます(笑)

伊勢原平成RC戦略計画について

阿部副委員長 計画の見直しは大切ですよ(笑) 早期に諦めても次をまた定めていращやるからすごいと思います。さて、クラブ戦略計画に基づいて、各年度の会長が年度計画をしっかりと立てている印象がありますが、クラブ戦略計画を立ててから今に至るまで、このような事は大変だったというのがありますか？

蜘蛛PP 特に大変なことはありません。単年度の会長を尊重する意味で、会長が策定する年間テーマは戦略計画に捉われずに決めて頂いています。ただし目標とするもの、何をしたら良いのだろうかというもののベクトルは同じ方向を示している。これが戦略計画だと思います。

阿部副委員長 なるほど。では、クラブ戦略計画を持ち、活動する事でクラブにとって良かった点はどのようなところですか？

蜘蛛PP クラブに目標・指針が出来たのが一番良かったと思います。奉仕委員長がその年度に「何をしたら良いだろう」と考えるとき、戦略計画が方向性を示してくれている。またクラブ会長が悩んだときパスト会長に相談しやすいのも戦略計画があるからだだと思います。会員増強・維持の面でも、1回目の計画では「3年間で10人純増」など、クラブにとって難しい計画を立てていたが、現在は無理のない範囲の目標設定を行っています。結果的に退会者はこの3年ゼロで会員数は安定しています。

阿部副委員長 最後に、今後、クラブをどのようなクラブにしていきたいですか？

蜘蛛PP クラブの戦略計画に沿ってその実現を目指していく事はもちろんですが、会員相互が遠慮なく意見を交わし、クラブの夢や展望を語り合いながら会員自身がロータリーライフを楽しんでいけるようなクラブ(主体はロータリー会員)にしていきたいと思います。

阿部副委員長 大変貴重なお話をお聞かせいただき、本当に有難うございました。クラブの未来を会員で描き、その旗印としてクラブのビジョンや戦略を掲げることで益々クラブが活性化していくのだと、本日の伊勢原平成ロータリークラブさんのお話から感じる事が出来ました。

今までに3回にも渡る戦略(長期)計画の策定は只々素晴らしいと感じました。

計画の作成には様々な手法があると思います。そのクラブに合った方法で行うのが一番だと思います。今回強く感じたのは計画を「作ったら終わり」ではなく「作ってから始まる」のだという事です。

計画目標の達成状況を検証し、ブラッシュアップしていく事で精度も高まるし、変化にも対応できると感じました。

最新の伊勢原平成ロータリークラブさんの計画書に記載されている「当クラブの理想像を探るために実施したアンケート結果等を尊重し、そして下記項目に留意してこの計画書は作成されました」の項目を最後に列記させていただきます。各クラブがビジョン策定やクラブの未来の計画を作る参考になればと思います。

1. 全員で決定したもの
2. 測定可能であること
3. 取り組みがいがあること
4. 達成可能であること
5. 時間が定められていること

(文筆 地区戦略計画委員会 委員 大河原幸夫)



伊勢原平成ロータリークラブ 戦略計画

テーマ

主体はロータリー会員

4つの目標

委員会の役割再構築	環境問題への取り組み	会員増強	奉仕事業とロータリー財団・米山奨学
組織を強化することにより、ロータリーの価値観を守り、委員会の役割について常に考え、良い方向に柔軟に変化させる。	地球環境問題を考え、未来の住みやすい地球となるように、地域社会とも協力し合いながら、平成ロータリーができることから取り組む。	会員増強はクラブの維持拡大に向け、常に意識する必要が有る。5年間でクラブの会員数を5名純増する。	財団補助金資金などを活用して地域・海外での奉仕事業を実施する。 財団補助金の事業活動を、5年の間に3回程度実施する。

地区米山委員会、地区会員増強維持拡大委員会より

米山奨学生★学友生及び新会員の集い

日帰りバス旅行 (合同開催)



当地区、初の試みとなる米山生と新会員の親睦交流を目的とした日帰り旅行が、去る令和3年11月27日(土)に開催されました。

当日は、穏やかな晴天に恵まれた中、100名程度の方に御参加を頂き、下記の行程により行われました。



小田原駅集合(9時30分)→伊豆フルーツパークにて昼食・みかん狩り→米山梅吉記念館見学及び米山梅吉墓参→三嶋大社参拝・祈禱→うなぎ割烹「御殿川」にて夕食→小田原駅到着解散(19時)



日頃、接点の無い米山生と新会員は、最初は初対面で会話もなかなか弾まなかったものの、双方の混成によるグループで楽しんだみかん狩りでは、「これ酸っぱい!!」「こっちの方が甘くておいしいよ!!」など、徐々に心も打ち解け楽しく交流が図れたようです。

また、米山梅吉記念館では、米山生・新会員それぞれに分かれて、学芸員の方の説明を頂き、皆さん熱心に耳を傾け、ロータリーの歴史について学びました。米山梅吉墓参では、米山委員会の三荒委員長の読経のもとお線香を手向けることが出来たのも、とても貴重な経験でした。その後、三嶋大社へ移動し参拝・祈禱を行った後、割烹「御殿川」に場所を移し、当日一番のお楽しみである夕食「鰻重」を堪能しました。この旅を振り返り、日帰りの旅としてはとても内容が濃いスケジュールで交流も図ることができ、大変満足のいく旅となりました。また、今回の旅行にご参加頂いた皆さん、同行・企画に携わったスタッフの皆さん、本当にお疲れさまでした。

地区会員増強維持拡大委員会 副委員長 峯尾 勝彦(綾瀬春日RC)

9月に予定されていた親睦旅行が11月に延期になり、奨学生の最初の懇親の場になりました。

行きのバスの中で、自己紹介と母国と日本の好きな食べ物について発表して頂きました。日本の一番好きな食べ物は、お寿司、「すき家」の牛丼が好きだという奨学生が多かったです。「何ですき家なの?」とバスの中で盛り上がりました。

昼食後のミカン狩りは、「このミカンは甘い」「すっぱい」を言いながらいただきました。一番食べたのは、どこのお腹に入ったのか分からないのですが、奨学生が12個も食べたと言いました。

米山梅吉会館では米山梅吉氏の功績や日本のロータリーの歴史を学び、お墓参りでは三荒米山委員長がお経を読んでお線香をあげました。また、ピチャイ・ラタクルRI会長が公式訪問した記念碑があり、その日がなんと2002年11月27日とちょうど19年前の今日ということにびっくりしました。

三嶋大社では公式参拝をしました。参加者全員にお札とご供物をいただきました。

夕食は鰻です。ハラールの方の食事が心配だったのですが、問題なくおいしく食べて頂きました。新会員と奨学生の交流はとても活発に行われ、食事後、参加されたロータリアンにスマイルをいただき、95,000円集まりました。このお金は学友会の活動資金として使わせて頂きます。多くのスマイル大変ありがとうございました。

米山奨学生は日本の文化を学ぶことが出来、将来は日本と母国との懸け橋になりたいと言っていました。

米山学友委員会 副委員長 森 誠司(平塚RC)

地区米山委員会、地区会員増強維持拡大委員会より



私は、本年10月の半ばに地元の津久井中央ロータリークラブに入会をさせて頂きました。入会間もないながらも岩澤あゆみ委員長が旧知の仲という事もあり、初めての対外メンバーとの交流機会に、ドキドキしながら秋晴れの素晴らしい天気のもと、参加をさせて頂きました。まだロータリークラブの事を全然理解していない私ですが、多くの会員の皆様に温かく迎えて頂き、本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

まずは食事とミカン狩りを通じて米山奨学生、そして新会員との交流の機会を頂戴いたしました。そのなかでお話しさせて頂くと、学生の皆さまは本当に前向きで明るく、ここ日本で学んでいる姿は清々しく、ロータリークラブでの支援が未来を作る若者たちの支えになっているという事を肌で感じさせて頂くことができました。

さらに日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の記念館にも訪問させて頂きました。梅吉氏の奉仕に生きた生涯を学ばせて頂き、私自身も人として、もっと豊かな人間になる事を目指し、奉仕に生きる人生を歩んで参りたいと思いました。やはり、人と人との交流は素晴らしく、様々なものを豊かにすることにつながると感じました。

近年は、新型コロナウイルスの脅威により、大人数でのバス観光のように人が集まるという事が難しい状況でありました。最近では少しコロナも落ち着きましたが、それでも開催が難しい中、感染症対策をしっかりとって、ご設営いただきました委員会メンバーの皆さまには本当に感謝しております。ありがとうございました。

参加新会員 山口 弘一(津久井中央RC)

11月27日「新会員の集い 日帰りバスツアー」では、大変お世話になりました。私は入会してから12月で丸3年となります。しかし、ほぼコロナなどで活動も中途半端な状態でこのまま続けていても良いのかと少し迷っていました。

今回のツアーで他の新人会員の方とお会いでき、皆さん明るく前向きに活動をされている姿を見て背中を押されるものがありました。

今後またお会いできる機会があると思います。今後ともよろしくご指導頂きますよう、お願い申し上げます。

本当にありがとうございました。

参加新会員 鈴木 正秋(寒川RC)

奨学生になって皆さんと参加する2回目のイベントでありまして、11月27日土曜日に「米山奨学生・学友生及び新会員の集い 日帰りバス旅行」に参加させて頂きました。小田原駅で集まりバスに乗って伊豆フルーツパークに行く間、バスの中で年上のバスガイドさんから色々なお話を聞きながら自己紹介や日本や母国の食べ物の話をしました。やはり国によって食べ物が違うことが面白かったし、コロナが落ちたら食べに行きたいなあと思いました。

伊豆フルーツパークに到着したらグループごとに分かれ、奨学生と新会員など組み合わせてご飯を食べたり、みかん狩りをしながらお互いを知ることができました。

その後、米山梅吉記念館に行きました。米山奨学生として、「米山梅吉」さんが東京で生まれどんな勉強したか、なぜアメリカに留学したか、日本との色々な国の架け橋となって繋げることで今のロータリーが存在することが分かるようになりました。

さらに、歩いて10分くらいのところにある米山梅吉さんの墓参りをしました。日本で初めての墓参りは母国と違うところがあり、間違えないよう皆を見てから墓参りをさせて頂きました。

またバスに乗り三嶋大社へ行き、歴史や建物について説明を聞き、静かな雰囲気の中参拝に参加させて頂きました。日本での初めての参拝で初めての文化体験ができました。

最後は夕食でうなぎ割烹御殿川さんに行き、昼食でお話しした方々ではなく、他の方達と座り食事が出来ました。ロータリーではいろんな分野の方々とお話ができることが一つの長所だと思います。外国人として大学、バイト以外で日本の社会人の方と会うことは難しいと思います。奨学生だけこんな機会があり様々な方とお話ができることが楽しかったです。小田原駅まで行き、解散になりましたが、またみんなと会う機会があればまた会いたいと思います。

参加ができて本当に良かったと思う日帰り旅行でした。

米山奨学生 金 侑美(世話クラブ・相模原グリーンRC)



「ARCのつぶやき」

令和3年も残り僅かになりました。今年もコロナコロナで明け暮れてしまいました。10月に入り、感染者数が減少を続け、最近はその往来が以前の日常に戻りつつあるようです。

ロータリークラブにおいても例会のスタイルが元に戻りつつあるのではないのでしょうか?しかしながら飲食を伴う親睦の機会、感染対策の中で制限を続けています。ロータリーの楽しさをどう創造するか、さらに奉仕活動をどう展開するか、それぞれのクラブで苦労が続いています。

シェカール・メータRI会長の呼びかけ「Each One, Bring One」への対応に頭を痛めているクラブは多そうです。あるクラブは5人の退会者が出て理由を聞くと、コロナによる経済的事情での退会は1名で、残りの会員はロータリーの活動が減少したことによる不満だったそうです。ロータリーの魅力について改めて考えさせられます。

「メダカはとかく群れたがる」と言います。日本人は「孤高」を重んじるところがあります。コロナ禍で人の交流機会が減少し、「孤高」は増えたと思いますが、ストレスがたまり精神的に病む人、40～50

代の男性でも更年期症が増えていると聞きます。寿命を縮める最大の要因は「孤独」であるという研究があります。「孤高」が「孤独」にならないか心配です。

ロータリーはその点多様な職業人、専門職の会員が集まり、相談が出来たり、アイデア、ヒントを貰えます。特に若い会員にとって、仕事や人生の悩み解消に効果絶大です。何でも話せる仲間ができることはロータリーの最大の魅力ではないのでしょうか?

2690地区のクラブで今年度58名から66名へと8名の増強に成功したクラブがあります。男女4名ずつですべて若い世代です。将来的に衛星クラブ化する予定で、例会を別開催しているとのこと。メンバーは会員の2世が中心で、親とは同じクラブには入らないというニーズに答えています。

会員維持にそれぞれ工夫をされていると思います。入会して間がない会員や年配会員へのフォローに気を配る必要があります。「孤独感」の解消にロータリー活動を活かしていきたいものです。

第三地域 ロータリーコーディネーター補佐

庄司 尚史(境港RC)

ロータリーの公共イメージの重要性について

ロータリーを発展させるためには、ロータリーが世界や地域社会の変化に適應し、必要とされる団体として変化していかなければなりません。

そのためにも、将来を見据えたビジョンが必要であり、組織を強化し、ロータリーの基本理念を達成するための戦略計画が重要となりました。はじめに組織を強化するための3つの優先項目が決まり、その一つが「公共イメージと認知度の向上」でした。他は「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」であったことはご存じの通りです。即ち、この3つは組織を強化するために関連があり連携をすることによって会員基盤向上につながるようになります。

また、クラブは「クラブ管理運営委員会」、「会員増強委員会」、「公共イメージ委員会」、「ロータリー財団委員会」、および「奉仕プロジェクト委員会」の設置が推奨されるようになりました。2017年度からは、「世界を変える行動人」キャンペーンが始まりました。2019年から優先項目は新たに4つの優先事項に変わり、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」と行動計画を推進するようになりました。

公共イメージ委員会の役割は、会員がロータリーやクラブについてどう語るかによって、ロータリーとその活動や基本理念に対する一般の人びとの認識が形づくられます。確固たる公共イメージが築かれれば、地域社会や世界の課題に果敢に取り組む「行動人」としてのロータリアンの姿は、全世界一貫とした姿で、地域社会に知ってもらえるようになるでしょう。

「ロータリーは、さまざまな国や文化、職業のリーダーのネットワークであり、交流を通じてアイデアを広げ、世界中の地域社会で行動をしています」この言葉は、私たちが考えているロータ

リーを表しているロータリーのエッセンスです。

ロータリーの公共イメージとは、「私たち自身がどう考えるか」だけでなく、「外部の人びとがロータリーについてどう感じるか」を含みます。

「ロータリー」という名を知ってもらうことはもちろん大切ですが、それだけでは十分ではありません。ロータリーの活動とそのインパクトを理解してもらってはじめて、参加への関心が生まれるからです。そのためにも、ロータリーについてどう伝えるかがカギとなります。公共イメージを好ましいものにすることは、なぜ必要なのでしょう。それは、ロータリーが認知されていても、必ずしもロータリーへの関心や参加に結びつくわけではないからです。

ロータリーでは、各々の会員がブランドの推進者となります。ロータリーを知らない人の認識と理解を深めることができるのは、ロータリーを既に経験している会員をおいてほかにありません。地元市民がロータリーに対して抱く印象は、クラブが地域社会とどう関わるかが大きく影響します。

コロナ禍で、暗いニュースがメディアにおいて氾濫する時代だからこそ、それぞれの地域社会で問題解決に取り組み、行動を通じて変化をもたらしているロータリー会員の姿を伝えることが重要なのです。10月24日の「世界ポリオデー」の活動は地域社会に大きなインパクトを与えたと思います。

2750地区主催「世界ポリオデー」トレインジャックプロジェクトの様子をYouTubeでご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=8iW9aQMJTME>

第三地域 ロータリー公共イメージコーディネーター

山下 皓三(鹿児島西RC)

予想もしない長いコロナ禍で、私達に力をくれたのは若い日本人達でした。すぐ頭に浮かぶのは松山英樹さん、藤井聡太さん、反田恭平さん、そして大谷翔平さん達です。彼らの共通点は、小さい頃に憧れの人やいて、そして具体的な目標があったということです。その具体的な目標に向かって時間を積み重ね、誰もが不可能だといった目標を達成しています。

具体的な目標をインプットすると、不思議なことにその方向に思考そして行動が向きまします。それをロータリーに当てはめてみると、実現できないとされた“ポリオ根絶”を地道に35年かけ、今まさに達成されようとしています。この様に世界規模で活動していることは、現在も着々と世間に取り上げられてはおりますが、達成した暁には公共イメージとして大いにアピールできると考えます。

その様な中、今年度「ロータリー奉仕デー」のもと、環境問題に取り組み「海岸美化プロジェクト」を第2820地区が発案し、ロータリアンとその家族と共に世界規模で行われ大成功をおさめました。ロータリーアクター、インターアクター、米山奨学生、そして地域のたくさんの方々に参加して頂き、多くのマスメディアを通じて公共イメージアップに貢献致しました。

コロナ禍も先行きは不透明ですが、2021年11月現在の状況として日本の新規感染者は、世界が奇跡と驚くほど減少しています。その理由はまだ誰もわかっていませんが、日本人の特性の清潔感そして他人を思いやる心が何ら

かの形で寄与している可能性があると思います。さらにロータリーは素晴らしい資質、キャリアそして人間力を持ち合わせた他に類のない人材の宝庫です。この「海岸美化プロジェクト」が多方面に伸び、又それらが長期にわたる可能性を秘めていると確信しております。

冒頭のもう一つのヒントは、なるべく若い時からロータリーの情報に接してほしいということです。公共イメージにおいて10年、20年の長期目標として、若者にロータリーの真髄を浸透させ、将来ロータリーに参加してもらう具体的なプロジェクトのプランも大切であると考えます。卓話などはロータリー内だけでなく、地域の学校などに出向くことも視野にいれ、又もし地域で若者のインフルエンサー等が存在していたら、ロータリーのアドバイザーになって頂くのも一考であります。そして漫画、アニメなどでロータリアンが如何に心豊かに人生を送れるかなどをわかりやすくアピールしたいものです。

この様に、地域を良くしたいとの熱意を世界に発信してアピールできること程公共のイメージアップに繋がることはありません。これからの活動を応援し、また皆様の御協力を御願致します。

第一地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

保延 輝文(石岡RC)

皆さんのクラブでは、せっかく入ってきた新会員が3年も経たずにクラブを辞めていくケースがありませんか?しかも、それが頻繁であるとコトは厄介かも知れませんよね。その原因を探ったことがありますか?

その原因について、私の経験を踏まえて分析し、その障害を取り除き、新会員がクラブが楽しいと思うようになるための方策をお教えしましょう。

原因①シニア会員が自ら自覚すべきことを正しく認識していないこと

特に会長を経験したシニア会員は、もうクラブ内の運営については卒業した気分になって協力的ではなくなるのだ。クラブのことより、自分のことが優先するとの考えを持つ人がいる。

「俺はいままでクラブに十分に協力してきた。もういいだろう」という感覚だ。でも、クラブを辞めようとはしない。ロータリアンとしてのステータスは保持したいのだ。特に、各種の寄付金やニコニコボックスへの協力などには極めて消極的で、若手に対する手本になっていない。

また、せっかく入ってきた新会員なのに、シニア会員が上手におもてなしを出来ないことから新会員が居心地の悪さを感じ退会していくという場面が何度となくあった。その理由の一つに、シニア会員が自分たちの仲間とだけ同じテーブルに座り、他の会員を寄せ付けぬ傾向があることだ。こういったシニア会員たちは言う。

「別に新会員を邪険にしているわけではない。向こうから胸襟を開いてくればいいことだ」。例会は週に一回のこと、自分の仲間と一緒にいたい気持ちも分からないわけではないが、緊張している新会員のために、彼らの緊張を緩和してあげる役割も現役会員にはあると思う。新会員にしてみれば、せっかく入ったロータリーだ。出来るだけいろいろな人と仲良くなりたいと考えるのは自然なことだ。それに出来るのは、現役会員たちの責務だ。立派な先輩は、まず自分から新会員に話しかけ、席に案内し、隣りに座って雑談に応じる、という態度を取ってくれる。

私がクラブ会長のとき、日本のロータリークラブの創始クラブである東京ロータリークラブへメークにいったことがある。帝国ホテルの大会場に高崎クラブの会員10人を連れてお邪魔をした。その際に受けた先方の会員たちのフレンドリーでフランクな対応には痺れたものだ。流石は東京ロータリークラブだ、という感想を皆が持った。見渡せば、テレビで見掛ける顔ぶれがたくさんいる。そういった人たちが皆、親切なのだ。ロータリアンの鑑を見た気がした。

原因②新会員へのフォローが不足していること

新会員は、近い将来その周辺の友人たちを連れてきてくれるキーマンであり、その反面彼らを失う(クラブを辞める)ことはその周辺の新会員ターゲット層を根こそぎ失うことを意味する。彼らが、クラブに居続けることは有意義だと思える環境を作ることが大切なのだ。それには、彼らの紹介者やクラブのシニア会員、会長や幹事の役員たちのバックアップ(フォロー)が必要だ。また彼らに対し、単にお客様のようなおもてなしをするのではなく、彼らがロータリーを知り、好きになり、楽しむようになれる教育を提供することが大切なのだ。それは本来、彼らを迎え入れたクラブが責任を持って取り組むべきことなのだが、それが出来るクラブは少ない。彼らはロータリー知識を得る機会が与えられることなく、ただ例会に出席し、ボツメンと昼メシを食って帰るだけのロータ

リー活動になってしまう。これでは続くはずがない。

解決策①例会場での着席場所を毎回抽選にした

そこで、毎週、例会において同じテーブルに同じ会員、グループが座らない工夫として、私は着席場所を一年間、毎回抽選にした。そうすれば、会員は毎回いろいろな人と交流ができる。なんと楽しいことか、と独りで納得した。ところがすぐ決めた途端、シニア会員から多くの叱声、罵声が飛んできた。しかもその声は私にはなく、私の女房役の幹事に対して向けられた。でも、幹事はこう言っている。「これは、田中会長が決めたことだ。田中さんは他人の言うことは聞かない人です。皆さん、ご存知でしょうか?」

その後は、誰からもその件についてのクレームはなかったという。良いと思っただけはやり遂げることが大切だ。

解決策②メークを奨励した

私の会長年度では、「KOC(Know Other Clubs)キャンペーン」(他クラブを知ろう)というメーク奨励のイベントを行った。一年を通じ、他クラブへのメーク回数が一番多かった会員を会長が表彰するというものだ。その効用は次のとおり。

- i 他クラブに行って友人に会い、情報交換ができる。
- ii メークを知らない新会員を連れて行き、他クラブの雰囲気を経験させることができる。
- iii 他クラブにおける見習うべき点を知り、自クラブの運営に取り込むことができる。

実際、こういうことがあった。

- i 高崎市外の他クラブにメークに行って、ロータリーに入りたいという高崎の経営者を紹介してもらったケース
- ii 高崎市外の他クラブにメークに行って、高崎への転勤の報告とそのクラブに退会の挨拶をしている人を見かけ、クラブに誘ったケース
- iii 他クラブにメークに行って、その場で同業者から仕事が回ってきたケース
- iv 他クラブにメークに行って、合同の社会奉仕活動が決まったケース

以上、すべて実話である。つまりは、数多くのメーク経験が多くのチャンスに巡り合わせてくれる、という当然の帰結である。

KOCキャンペーンの一等賞は、なんと一年に32回のメークをした会員だった。最近では、私はKOCキャンペーンに続き、「メーク・ツアー」という他クラブ訪問の企画をしている。一人では訪問出来ないという若手会員数人を引き連れ、私とその案内役を務めている。これまでに、国内のクラブはもとより海外のクラブにも数回行った。その経験者は延べで150人を超えている。皆、メークのベテランになった。

その他、解決策はたくさんある。皆で考えて、苦勞して、会員増強活動の結果入ってきてくれた新会員を簡単には失わないで欲しい。

以上は、拙著『ロータリークラブに入ろう!』(幻冬舎ルネッサンス新書・2021年6月刊)から抜粋した。詳しくは、拙著を参照してください。

第一地域 ロータリーコーディネーター補佐

田中 久夫(高崎RC)

Dawn of Nobility — How was Rotary established? —

ロータリーの創生 Vol.6

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)

監修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

全米ロータリークラブ連合会 ～開花する奉仕理念～

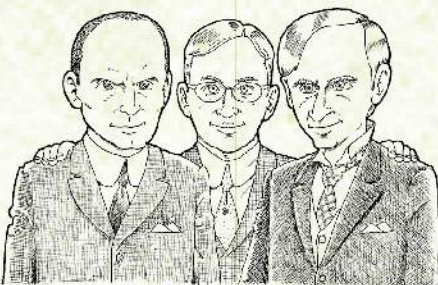
ハリスと奉仕推進派の会員たちは公衆トイレ設置により、シカゴ及びシカゴ市民に対し奉仕事業を実践し見事に成果を上げることが出来た。

しかし、この事がクラブで思わぬ混乱を引き起こすこととなる。

当時150名からなるクラブ会員の殆どが親睦と互恵を期待し入会をしてきているため、初めて行われた奉仕事業に皆困惑し大揺れに揺れたのである。ハリスが掲げ

た奉仕の方針に同調したのはドナルド・カーターやアーサー・フレデリック・シェルドン (Arthur Frederick Sheldon) 他の少数派であった。

クラブの多数派とハリス達の間で、「親睦・互恵か奉仕か」を巡り激しい論争となり、議論は收拾がつかず平行線をたどった。1908年、2期目の会長であったハリスは、シカゴクラブでの奉仕活動は不可能と判断し、任期途中で



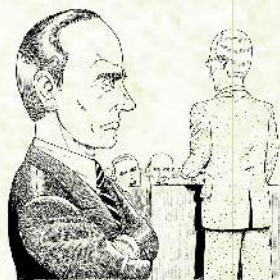
Chesley R. Perry Harry Raggles Arthur F. Sheldon

会長を辞任、シェルドンも務めていた拡大委員長をハリー・ラグルスら互恵親睦派により解任された。

会長を退いたハリスはすぐに行動に移した。彼が行ったのは1期目の三つの所信のうちの一つ「他都市でのクラブ設立」である。ハリスはシカゴクラブ会員のマヌエル・ムノズからサンフランシスコの弁護士ホームー・ウッドの紹介を受け、ウッドの協力で新クラブ創設を拡大していく。

1908年11月にサンフランシスコクラブ設立を皮切りに、翌1909年にはオークランド、シアトル、ロサンゼルスにクラブが設立された。更にクラブ創設は進み、ニューヨーク、ボストン、ポートランド、ミネアポリス、セントポールに新クラブが誕生した。

一方シカゴクラブは、親睦と互恵優先を拭い切れない状態が続き、ハリスはクラブの意識改革を断念、シカゴクラブ会員のチェスレー・ペリー (Chesley R. Perry) らの協力を得て奉仕理念の確立をするために新たな組織を作ることを決意する。



Chesley R. Perry

1910年、全米に設立された複数のクラブの連合体である全米ロータリークラブ連合会が設立された。これが後の国際ロータリー (RI) の前身である。

初代会長はハリスが就任、幹事はペリーが務めた。ペリーはこれ以降1942年まで実に32年間幹事職を全うした。

これを境に全米ロータリークラブ連合会において、ロータリーの理念が確立されていくこととなる。

しかしながら、この流れは親睦・互恵を否定したものではなく、親睦・互恵はクラブにおいて、奉仕理念の発展は全米ロータリークラブ連合会においてとし、両者を分離させ軋轢と混乱を避けるために連合会創設が構想されたといわれている。



GROW MORE MEMBERSHIP!

～新会員's VOICE 5～

地区会員増強維持拡大委員会 委員 高橋 正宏 (藤沢東RC)

毎号、順番に各グループから数名の新会員の方をご紹介します、生の声を皆様にお届けしております。

第5回目は、第3グループより2名の新会員を紹介します。イノベーションゲートウェイ湘南ロータリークラブの加藤会長と久野幹事になります。このクラブは、2020年12月に新クラブとして承認を受けた新しいクラブです。新クラブ発足後、すぐにコロナウイルスの関係で例会もオンラインで行っており、リアルな例会は最近になってからで、まだ会ったことがない会員もいるとのこと。例会は月に2回、うち1回はオンライン例会、リアル例会も午後3時から開始するそうです。クラブのチャーターメンバーとなるお二人は、5年後、10年後の地域に役に立つリーダーを育てる役割をしていきたいと想いを語っていただきました。

新クラブ設立の経緯、ロータリーの使命や今後の抱負を語っていただきました。新たな会員増強や維持のヒントが隠されているかもしれません。是非、下記のサイトやQRコードからアクセスしていただき動画をご覧いただければ幸いです。(動画は約19分です)


https://youtu.be/G1Kjb_GMEwM

新会員 加藤 一 (イノベーションゲートウェイ湘南RC) インタビュアー 関根 貢 (地区会員増強維持拡大副委員長・葉山RC)
 新会員 久野 孝稔(イノベーションゲートウェイ湘南RC) インタビュアー 高橋 正宏 (地区会員増強維持拡大委員・藤沢東RC)

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



ほそい かずひろ
細井 一宏
①相模原橋本
②2021.8.26
③電工
④福原信明
鈴木智



やまがみ ゆたか
山神 裕
①足柄
②2021.10.1
③農業
④遠藤秀樹
山本研一



よう いえい
葉 維英
①湯河原
②2021.10.1
③社会教育
④神谷一博



たにがわ あきのり
谷川 明謹
①秦野中
②2021.10.22
③金融業
④内藤房薫
小巻慎吾



あ い み
ヴィルupp 愛美
①茅ヶ崎中央
②2021.11.9
③美容関係
④當間安弘
渡辺久夫



おおくもと けんたろう
奥本 健太郎
①茅ヶ崎中央
②2021.11.9
③司法書士
④小林拓也

お詫びと訂正

月信 12月号 小田原ロータリークラブ会長のお名前 (14頁) に誤りがありました。

(正) 大田和 俊彦

お詫び申し上げるとともに、謹んで訂正いたします。

訃報 ご冥福をお祈り致します



おおた としひで
太田 俊英(鎌倉南、鎌倉大船RC)
2021年11月21日逝去(享年59歳)
2001年 1月15日..... 鎌倉南RC入会
2006-07年度..... 鎌倉南RC会長
2012-13年度、2019-20年度..... 鎌倉大船RC会長
ロータリー財団 PHF+2
米山奨学会 第2回来山功労者

第2780地区 2021年11月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数									
				11月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
				男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1	横須賀	4	76.22	117	13	121	14	1	0	5	1	-4	-1
	横須賀北	3	82.45	20	4	20	4	0	0	0	0	0	0
	三浦	3	66.67	29	1	29	1	2	0	2	0	0	0
	横須賀西	4	100.00	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	横須賀南西	5	82.56	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0
計			81.58	191	18	195	19	3	0	7	1	-4	-1
2	鎌倉	4	62.53	79	13	78	13	1	0	0	0	1	0
	逗子	4	65.12	43	4	45	4	1	0	3	0	-2	0
	鎌倉大船	3	65.39	14	0	16	0	0	0	2	0	-2	0
	葉山	3	52.38	21	4	22	4	2	1	3	1	-1	0
	鎌倉中央	2	50.00	22	4	22	4	0	0	0	0	0	0
計			59.08	179	25	183	25	4	1	8	1	-4	0
3	藤沢	2	68.61	42	13	42	13	1	1	1	1	0	0
	藤沢西	3	80.00	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0
	藤沢東	4	65.09	33	7	32	8	4	0	3	1	1	-1
	藤沢北西	3	83.33	12	0	11	0	1	0	0	0	1	0
	藤沢南	5	68.11	38	7	38	7	1	0	1	0	0	0
	ふじさわ湘南	4	72.80	34	1	34	1	0	0	0	0	0	0
	かながわ湘南	3	47.62	21	13	21	13	0	0	0	0	0	0
	アーカス湘南	3	100.00	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
イノベーションウェイ	1	57.14	28	1	27	1	1	0	0	0	1	0	
計			71.41	231	45	228	46	8	1	5	2	3	-1
4	茅ヶ崎	4	89.15	40	5	39	5	1	0	0	0	1	0
	寒川	3	94.05	30	1	30	1	0	0	0	0	0	0
	綾瀬	4	94.12	35	0	35	0	0	0	0	0	0	0
	茅ヶ崎湘南	3	61.40	45	1	41	1	5	0	1	0	4	0
	茅ヶ崎中央	3	79.03	50	3	49	2	3	1	2	0	1	1
計			80.96	224	11	218	10	9	1	3	0	6	1
5A	相模原	4	63.66	71	6	68	5	3	1	0	0	3	1
	相模原グリーン	3	67.30	52	5	52	5	0	0	0	0	0	0
	津久井中央	2	80.95	22	4	20	4	2	0	0	0	2	0
	相模原橋本	4	50.00	61	9	59	9	3	0	1	0	2	0
相模原ニューシティ		2	65.48	42	5	42	5	0	0	0	0	0	0
5B	相模原南	3	89.58	53	9	51	7	2	2	0	0	2	2
	相模原中	4	93.57	26	3	27	3	0	0	1	0	-1	0
	相模原西	2	56.67	45	5	45	5	0	0	0	0	0	0
	相模原東	2	83.22	15	4	14	4	1	0	0	0	1	0
	相模原柴胡	4	75.00	26	2	26	2	0	0	0	0	0	0
相模原かめりあ		2	76.67	30	30	23	23	7	7	0	0	7	7
計			66.84	451	86	435	76	18	10	2	0	16	10

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数									
				11月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
				男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
6	厚木	4	81.12	41	2	42	2	0	0	1	0	-1	0
	大和	3	90.35	33	5	33	5	1	0	1	0	0	0
	座間	2	57.42	29	1	30	1	0	0	1	0	-1	0
	大和中	2	71.25	25	1	25	1	1	0	1	0	0	0
	厚木中	2	93.28	26	1	24	1	3	0	1	0	2	0
	計			75.01	346	28	344	28	8	0	6	0	2
7	秦野	2	73.62	50	7	49	7	1	0	0	0	1	0
	伊勢原	3	52.20	53	3	51	3	2	0	0	0	2	0
	秦野中	4	83.11	39	2	39	2	1	0	1	0	0	0
	伊勢原中央	2	100.00	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	秦野名水	4	85.94	16	7	16	7	0	0	0	0	0	0
計			76.65	190	20	186	19	5	1	1	0	4	1
8	平塚	3	68.85	61	4	59	4	2	0	0	0	2	0
	大磯	2	61.54	16	2	16	2	0	0	0	0	0	0
	平塚北	3	57.05	36	6	37	6	0	0	1	0	-1	0
	二宮	2	87.50	8	2	8	2	0	0	0	0	0	0
計			68.50	198	23	196	23	3	0	1	0	2	0
9	小田原	4	91.66	64	5	58	2	6	3	0	0	6	3
	湯河原	4	83.90	25	4	24	3	1	1	0	0	1	1
	箱根	3	79.05	35	2	36	2	0	0	1	0	-1	0
	小田原北	3	89.92	31	4	30	4	1	0	0	0	1	0
	小田原城北	4	71.52	44	3	45	3	0	0	1	0	-1	0
計			84.25	266	24	259	20	9	4	2	0	7	4
総計			73.81	2276	280	2244	266	67	18	35	4	32	14

地区内クラブ	地区内会員総数(人)	()内は女性会員
65	2,276(280)	
本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員増減数(人)
67(18)	35(4)	32(14)
箱根RC FAX番号変更のお知らせ		
新FAX番号▷0460-82-5534		



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2021~2022 Governor

Toru Tajima

■OFFICE

Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501
Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,
Kanagawa 251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
URL :https://rid2780.gr.jp

2021~2022 年度ガバナー

田島 透

■事務所

〒251-0055
藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル 5階
Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2022年1月1日 第7号